

特集

第20回組合長旗争奪 スポーツ少年野球大会



あなたとJAをつなぐ情報誌

よつばの

YUME



2023
vol.272

12



清流の里に^{あした}未来を拓く

 加美よつば農業協同組合

URL <https://www.ja-kami.or.jp/> E-mail: yotsuba@ja-kami.or.jp



今月の
表紙

おうちの

めんこ孫

おじいちゃん・おばあちゃんが
我が家のめんこ孫を紹介!

小野田
としひろ
青砥 利浩さん(60歳)
ふじみ
富士美さん(56歳)
しあん
史按くん(1歳)



しあんくんは働く車が大好きで、パトカーやショベルカーのおもちゃがお気に入り。働く車の動画を流すと、一生懸命に食い入るように見つめているのがかわいいです。タブレットを出すと、動画が見られることがもう分かっているみたいです。

それから果物も大好きで、ミカンやデコポンは酸っぱくてもパクパクと食べています。ブドウを初めて食べた時には、あまりのおいしさにビックリした顔をしていました。旬の時期は無心になって食べています。

乗り物が好きなので、もう少し大きくなったら飛行機に乗せてあげたいです。旅行先でいろんなものを見たり経験したりしてほしいですね。

よつばの YUME 2023年 12月号

CONTENTS

おうちのめんこ孫2
 女性部の活動／お役立ち掲示板3
特集 第20回組合長旗争奪スポーツ少年野球大会 ...4~5
 今月の営農情報6~7
 おいしいミルクレシピ／手軽に体操8
 文集 薬菜山9
 わだいゆめ10~11

青春ストーリー／YUMEREDY12
 JAからのお知らせ13~17
 みんなの声／理事会・監事会報告18
 イブニングサービス／組合員数
 今月のプレゼントクイズ19
 加美警察署からお知らせ／編集後記20



牡羊座 おひつじ
(3.21~4.19)

〈全体運〉視野が広がり「なんだ、そういうことか」という気付きがありそう。早めに修正を。臨機応変な行動にツキ 〈健康運〉とてもパワフル。力仕事も積極的に引き受けて 〈幸運の食べ物〉カボチャ



女性部の活動

本部 フレミズ会 ボタニカルキャンドル作り

フレミズ会は10月17日にキャンドル作り体験教室を開き、ドライフラワーを蠟の中に入れてアロマで香りを付けたボタニカルキャンドルを作りました。部員11名が参加。思い思いにドライフラワーやドライフルーツ、スパイスを組み合わせて柄を作り、世界に一つだけのオリジナルのデザインを作製しました。講師には泉区根白石にキャンドルショップ「Lamp of Hope」を構える相原真也さんを招き、キャンドルを長く楽しむためのコツや災害時の活用法などのアドバイスもいただきました。



▲色とりどりの草花を投入

また『家の光』セミナーとして、2022年2月号掲載の記事「断捨離ダイアリー」を活用した講和も実施。毎日少しずつ片付けることで生活のゆとりを取り戻そうをテーマに、家の中を片付けるポイントを学びました。

本部 活き生き会 冬の庭先を彩る寄せ植え講習会

活き生き会は10月25日に冬の玄関に飾る寄せ植え教室を開き、部員5名が参加しました。講師には「やくらいナーセリー」の佐藤明さんを招き、寒さに強い品種のビオラを10種類ほど用意。中には珍しい形の品種もあり、参加者は「いろいろな色があってかわいいね」などと話しながら、鮮やかな花を思い思いに鉢に植えていきました。

その後は、『家の光』のYouTube動画を使って研修を行いました。座ったまま体を動かすことで、歩くために必要な下半身の筋肉を鍛えることができる「椅子ウォーキング」や、手で体のあちこちをたたいて歌に合わせて音を出す「ボディリズム」の動画を見ながら楽しく学びました。



▲植え方のコツを教わりながら

金融共済部

Webマイページをご存じですか？

これからWebマイページをご登録いただく皆さまへ

登録者 100万人突破!!

Webマイページ 登録しつく キャンペーン

JA共済

Web@マイページ \登録しつく/ キャンペーン

利用者ぞくぞく!

対象期間 令和5年4月1日～令和6年3月31日

キャンペーン実施中!

第1期	令和5年6月30日
第2期	令和5年9月30日
第3期	令和5年12月31日
第4期	令和6年3月31日

詳しくはコチラ

23049990134

お役立ち掲示板

Webマイページは24時間365日いつでもどこでも、契約内容の確認や住所の変更、自動車共済の継続手続き、年末調整・確定申告に利用できる控除証明データの取得などができます。ただ今ステキな賞品が当たるキャンペーンを実施中！詳しくは共済センター（TEL25-5510）へお問い合わせください。



J.A加美よつば組合長旗争奪 スポーツ少年野球大会



色麻小あたごクラブが
7年ぶりに優勝!

J.Aは9月9日、「第20回組合長旗争奪スポーツ少年野球大会」を色麻町屋外運動場で開き、色麻小あたごクラブが7年ぶりに優勝に輝きました。大会には、加美郡内のスポーツ少年野球4チームが出場し、トーナメント戦で熱戦を繰り広げました。雨が降った後のコンディションの悪いグラウンドでしたが、選手たちは爽やかな汗を流しながら気迫あふれるプレーを見せていました。

優勝した色麻小あたごクラブはチャンスを逃さず着実に点を重ね、1回戦、決勝戦ともに逆転勝利となりました。9月30日開催のJ.A共済少年野球大会宮城県大会にJ.A加美よつばの代表として出場しました。

地域住民と次世代を担う若者との積極的なふれあい活動として始まった本大会は、今回20回目の節目を迎えました。出場したチームには記念品として、ボールとソックスのほか、地元産のシャインマスカットや家の光協会の小学生向け雑誌「ちやぐりん」などが贈られました。

結果は左記の通りです。

- 優勝 色麻小あたごクラブ
 - 準優勝 小野田スターズ
 - 第3位 中新田ベースボールクラブ
 - 第4位 宮崎リトル山王
- 最優秀選手 岡本 健介さん (色麻小あたごクラブ)
- 優秀選手 畠山 成覇さん (小野田スターズ)
- 佐々木龍翔さん (中新田ベースボールクラブ)
- 宮崎 千陽さん (宮崎リトル山王)



4 宮崎リトル山王



2 小野田スターズ



3 中新田ベースボールクラブ



畜産情報

宮城県総合畜産共進会が開催

【指導】

畜産課 佐々木 輝 瑠



9月8日と9日に宮城県総合畜産共進会「肉用牛の部」、28日に「乳用牛の部」が美里町のみやぎ総合家畜市場で開催されました。4年ぶりに入場制限がなかったということもあり、大勢の観客が訪れ盛大に行われました。

共進会は、生産農家と関係者が一堂に会し、家畜改良及び飼養技術の向上に努力・研鑽した成果を披露する大会です。各地区から選ばれたトップレベルの牛が集い、改良の成果を競い合います。磨き抜かれた牛の姿のほか、綱一本で牛を操る調教技術も見どころです。

この共進会で、加美よつば管内の生産者が見事入賞しましたのでご紹介します。

肉用牛の部

宮崎区域の千葉康さんが第3区（経産牛）に出品し、最優秀賞の1席となりました。



▲受賞を喜ぶ千葉さん親子

乳用牛の部

中新田区域の千葉義文さんが、第1区（生後12カ月未満）と第3区（生後12カ月以上16カ月未満）に出品。第1区では最優秀賞、第3区では名誉賞となりました。



▲2つの区で入賞した千葉さん



野菜出荷休日カレンダー(12月)

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24 25	26	27	28	29	30	

○印が皆さんの休みの日です。
※JAのHPでもご覧いただけます。

9月子牛市場成績

(税込)

性別	雌	去勢	計
頭数 (頭)	55	62	117
平均体重 (kg)	293	320	307
平均販売価格 (円)	475,520	630,619	557,709
前月比較 (平均販売価格・円)	-50,347	63,415	6,840
前年同月比較 (平均販売価格・円)	-82,478	-42,123	-67,691
市場平均販売価格 (円)	468,130	598,761	539,512

10月子牛市場成績

(税込)

性別	雌	去勢	計
頭数 (頭)	48	61	109
平均体重 (kg)	295	328	314
平均販売価格 (円)	496,329	595,497	551,827
前月比較 (平均販売価格・円)	20,809	-35,122	-5,882
前年同月比較 (平均販売価格・円)	-81,886	15,326	-27,390
市場平均販売価格 (円)	495,956	580,449	542,352

小松菜を育ててみませんか？

【指導】

園芸課 後藤 瑠伽



寒さが厳しい季節となりました。
今回は1年中栽培可能な小松菜の育て方を紹介します。



栽培方法

●圃場準備

小松菜は土壌が酸性でも育ちますが、酸性の強い畑ではは種2週間前に苦土石灰を入れて耕し、さらに1週間前に元肥を入れて耕します。

前作によっては、肥料分が多い場合があるので、残肥を考慮して施肥しましょう。

●は種

土の表面を平らにし、深さ1cmの溝を15cm間隔で2列作ります。溝に1～2cm間隔で種をまき、覆土して鎮圧したっぷり水をかけます。この時厚まきにならないように十分注意しましょう。

プランターの場合は土が乾燥しやすいので、発芽するまで濡れた新聞紙をかけておきましょう。

～ポイント～

水やりは種が浮き出たり、流れたりしないよう慎重に行いましょう。

●間引き

1回目：子葉が出てきた頃、生育の悪いものを間引きます。

2回目：本葉が2～3枚になった頃、4～5cm間隔になるように間引きます。

●追肥とかん水

肥料は元肥のみを行うのが基本ですが、肥料不足の場合は本葉2～3枚になった頃に液肥を施し、乾燥が続く場合はかん水し、旺盛に育てましょう。

また、多湿になると軟弱徒長しやすく病害も発生が起りやすくなるので、かん水は本葉3～4枚までとします。

生育後半は土壌を乾き気味に保ち、病害や軟弱徒長を防ぐようにしましょう。

●収穫

草丈が20～25cm程度になったら根も一緒に抜き取り収穫します。収穫が遅れると繊維質が強くなりすぎ、食味が低下するので注意しましょう。

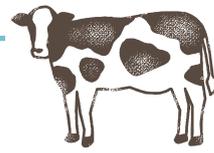
～令和6年産の加工用トマト
作付者を募集中～

JA加美よつばが誇る6次化商品『とまとケチャップ』の原料である、加工用トマトと一緒に作ってみませんか？

現在、加工用トマトの栽培面積は年々減少しており少ない作付面積からでも栽培は可能となります。また、栽培講習会を2月に開催する予定ですので、ご興味のある方は、各拠点センター営農経済課もしくは営農センター内園芸課までご連絡ください。

《お問い合わせ先》園芸課 ☎63-3761





牛乳をもっと食卓に

おいしい ミルクレシピ

親子丼の新定番

ホワイト親子丼



《材 料》(2人分)

- 鶏モモ肉……………100g
- 塩・こしょう…各少々
- タマネギ……………1/2個
- 卵……………2個
- バター……………10g
- A 牛乳…200ml
- 顆粒スープのもと(洋風)…小さじ1
- 砂糖…小さじ1
- 塩…小さじ1/4
- ミツバ……………適量
- ご飯……………茶わん2杯分(約300g)
- 粉チーズ…大さじ1/2

《作り方》

- ①鶏モモ肉は1.5cm角に切って塩・こしょうを振る。タマネギは繊維に沿って薄切りにする。
- ②卵は卵白と卵黄に分け、卵白を軽く溶きほぐしておく。
- ③小さめのフライパンを中火にかけてバターを溶かし、鶏モモ肉、タマネギの順に加えて炒める。焼き色が付いたらAを注ぎ、弱火で温める。
- ④煮立ってきたら②の卵白を入れて、ザックリと混ぜて火を止め、ザク切りにしたミツバを散らしてふたをする。
- ⑤ご飯を器に盛って④をのせ、粉チーズを振り、②の卵黄をのせる。

出典●JミルクWEBサイト「ミルクレシピ」

7つの部位を使った体操プログラム「ザ・タイソウ」はコチラ



体調・健康管理に気を付けたい季節です。冬になると空気が乾燥し、室内は暖房器具の使用によって湿度が下がります。夏のシーズンのみならず、冬場においても水分補給をお忘れなくお過ごしくださいね。

さて、12月になると何かと忙しさを感じることはありませんか？デスクワークなどで長時間にわたって同じ姿勢を取り続けていると、筋肉が凝り固まり、肩や腰、背中などに負担がかかります。血行を促し、疲労が蓄積しないよう、仕事の合間にストレッチを取り入れて気分転換を図りましょう。

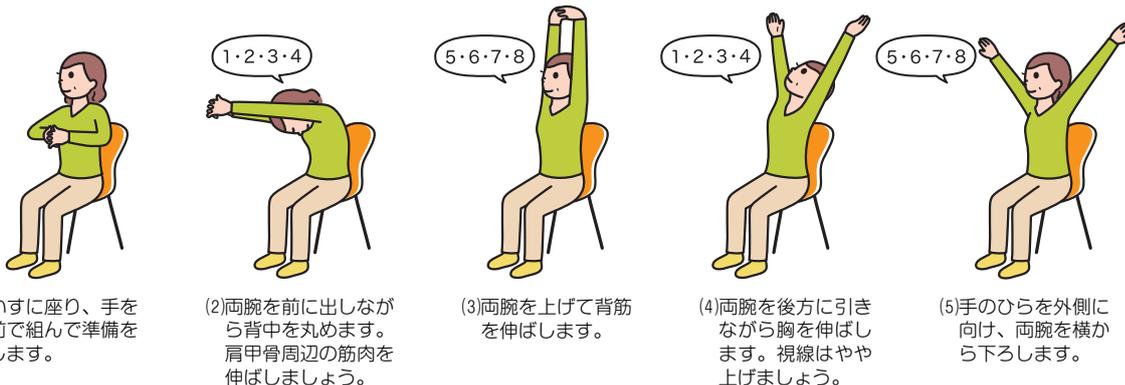
そこで今回は、胸を伸ばすためのストレッチを紹介しながら行います。大胸筋や肋間(ろっかん)筋を伸展させましょう。仕事の合間に、時折体を動かしてリフレッシュしてくださいね。

仕事の合間にストレッチでリフレッシュを！

日本体育大学准教授 ● 伊藤 由美子

体を動かすためのヒント 手軽に体操

レッツ、トライ! 胸を伸ばすストレッチ



乙女座 おとめ (8.23~9.22)

《全体運》イレギュラーな対応が必要になり戸惑いがち。非常時こそ冷静に。下旬には状況が改善へ。焦って答えを出さないで《健康運》発酵食品が多めのメニューで腸内環境を改善《幸運の食べ物》ナガイモ



藥茶函

(前回まで) 東京で空襲に会い、多くの人々が地方へ移住した人々に混じり、私も母と共に中新田町へ避難した。町内には東京女子師範の付属小学校の生徒が既に疎開してお寺など三か所に分散。宿泊して教育が行われていた。

しかし、終戦後は次々に上京して行った。マッカーサー元帥についてもふれたが、昭和二十年八月末のことである。東北地方にも占領軍が海上から上陸してきた。直ちに日本占領するため塩釜港から、松島パークホテルに駐留軍本部が置かれた。

私は祖母がいた北仙台へ、軌道「子」に乗って行ったが市電に乗ると仙台駅など中心部は焼け跡だった。GI(米兵)があちこちで見受けられ、花京院にはネオンつきの米兵用のダンスホールができていた。子供にとっては、そのGIたちが乗っているジープが珍しかった。なにしろ終戦後には町内に乗用車は一台もなく、目にしていたのは警察のサイドカー一台とバス、トラックだけだったのだ。しばらくしてジープを組み立てる玩具が売り出され、それを作った。

またゴムで飛ばすヒゴと紙で製作する飛行機や、銅線と磁石でつくるモーターなども手造りした。戦時中、敵性と呼ばれた野球であったが、プロ野球が戦後すぐ復活し、東西対抗が行われたことが伝わり、ラジオ放送された。地方では高校、中学生が試合をしたり、「ニュースター」というチーム名の社会人野球が町内で見られた。

私たち子供も見よう見まねで赤Mと呼ばれる軟式庭球のテニスボールなどを使って空地で三角ベースボールをやつて遊ぶようになる。小学三、四年生位になると軟式野球も試みるようになるが、革のグローブが運動具店にもなく、ズックに少しばかりの革を当てたものでプレーしたのである。

古橋廣之進が日米対抗水泳で勝ったのは、大きなニュースとなり、敗戦に打ちひしがれていた国民を熱狂させた。われわれはプールがなく、川原で或いは小川で水泳を楽しんだ。スポーツといえば、バレーボールの他に卓球は古川高校の選手の活躍で、子供たちの間でも冬の遊びとなり、家庭

のテーブルが利用された。十日市では魚屋組合に本式の卓球台が置かれ、時間待ちの組合員がやった。近所の子供たちもその仲間に加わった。スキーやスケートもなんとなくやって遊んだ。

終戦後には出版物もなく、紙芝居と貸し本が楽しみだったが、数年経ずして「少年クラブ」や「野球少年」などの雑誌が出回った。丸米本屋さんで立ち読みしたりもした。例えば大人用の「野球界」や美術の「みづえ」などにも美しい絵が掲載されていたので手に取った。また古本では「岩窟王」デュマ作「モンテクリスト伯爵」なども、本はルビつきで読んだのがなつかしい。小学校の前に社会教育のための公民館が建てられた。そこには図書も少ないけれどあった。私はそこで「世界美術全集」を見て楽しみ、色彩が豊かなマチスや奇妙なピカソに出会った。子供なので、印象派やシュールレアリズムなどの解説がなされていたが十分理解しないまま、いろいろな絵があるのに驚いたものである。学校の音楽の時間には「ユーモレスク」(ドヴォルザーク)などを教室のレコードで聴かされた。家にあつた手動式の蓄音器でSP盤のレコードで戦前に天才少女とうたわれた諏訪根自子のセレナード(シューベルト)、タイスの瞑想曲(マスネ)、美しき天然(田中穂積)などを聞いた。しかし、自分では木琴やハーモニカを吹いたりしたのが関の山だった。諏訪根自子のバイオリンの響きは子供心にも不思議な美しさがあつた。また近所の音楽愛好家に交響曲などを聞かせてもらった。

食べ物は今の子供たちと同じでカレーライスが大好物である。母の実家は農家なので鶏をつぶしてカレーとなり大喜びした。甘いものでは、まんじゅうやあんこの「焼き」は定番でそのうちシュークリームも町内の菓子店で売られるようになる。キャラメルは雪印、明治など多種類であつた。またおまけつきのカバヤもあつた。

物が不足していたこともあり、農家はみな鶏を買い、われわれは病気になる人に卵を買って持っていって。肉屋さんには鶏肉が中心で、牛肉などは売っていなかった。畜産は戦後に発展した。子供たちに兎を飼育することが流行、鳩を飼う人が増えた。私は兎を飼い、草刈りをしたのである。

子供の視線から見た戦後は以上のような風景である。産経新聞(九月五日付)で漢検の高坂節三氏が、ピーター・ドラッカーを引用して次のように書いていた。

「日本はかつてはきわめて貧しく、農業を主とした国で階級と身分に縛られていたが、明治維新から三〇年後、近代国家となり、帝政ロシアを破れるほどの軍事大国になり、

世界貿易の一角を占めるようになった。日本も結局は明治の成功に縛られてしまった。日本の独立を守るという手段にすぎなかった軍事力が目的そのものにされてしまった。」

明治から一五〇年を要約するところなる。また私より少し年長だった作詞家、阿久悠の文をも引用している。「民主主義は誰かの口を借りてきて(彼の通っていた小学校で)第一声を発した。それは実に、昨日までのことは悪いこと、昨日までと逆のことをやたらよろしい」といった乱暴な定義づけで、先生よりは生徒がえらい、巡査より泥棒がえらい、親より子がえらいといった解釈が大真面目で通用した。多くの仲間にも、先生に不行儀を咎められると、先生、民主主義やで」と恫喝の手段に使うのがいたくらいである。

思えばこの愚かしく、滑稽で、乱暴な民主主義の解釈をその後、誰も修正していない。政治家も教育者も正解を語っていない。ほくらちりめんじゃこのような少年が、それぞれの成長過程で、わが内なる民主主義を確立させただけ(阿久悠「生きっぱなしの記」)

小学校四年生になって(昭和二十四年)、初めて東京に行った。東北本線の夜行列車で十時間以上かかった。上野駅を出ると、車だらけのような大都会を目にした。夜になるとネオンの光の中を、洪水のように車が走っていた。さらに都心に進むと、国会議事堂だけが建っていて、その周辺は焼け野原だった。翌日、上野の公園に行くとき紙くずだらけながら、沢山の人々が歩いていて、その足下には傷痍軍人の人々が白い病衣を来てアコーディオンを弾いていた。このような東京とは異なり、わが加美郡の旧中新田町は、阿久悠のように語っていた人は少なく、平和だが、人々は食べることに必死に生きていた。農家も商店も。その戦乱に会わなかった地方も恐らく大きな価値の変化があつたのである。

私たちが生活の中で、物に不足しながらもか今日まで生きてきたのである。私たちの中には中学を卒業して、すぐ就職のため東北本線に乗った人たちも多かった。あるいは夜学で高校、大学へ進んだ人たちもいるだろう。現在は少子高齢社会下でかつてより豊かにはなつたが、人口の自然減少が見られ、社会が衰える可能性もある。冬の奥羽山脈を眺めながら、社会が衰える可能性も考え直してみたい。(終)

注1 諏訪根自子：大正9年1月23日生まれ
注2 阿久悠：昭和12年2月7日生まれ



杜さん彩青さんが 15曲あまり熱唱

J A加美よつばとJ A古川は9月4日、大崎市民会館で「令和5年度大崎地区J Aのつどいコンサート」を開きました。演歌歌手の杜このみさん、彩青さんを招き、昼夜2回合わせて約800名が来場。

イベントは、地域に根ざした協同組合として組合員や地域住民と交流することを目的に、J Aで供給する飲料水などの購入者を招待して毎年開いています。

彩青さんは2人の師匠である細川たかしさんの「浪花節だよ人生は」をカバーで歌い上げたほか、デビュー曲の「銀次郎 旅がらす」などを披露。杜さんは新曲「葦風峠」や子どもの頃から親しんだ民謡で会場を盛り上げました。

来場者は「生で聴く2人の歌唱力に元気をもらった」と話しました。

歌唱後には、2 J Aの職員が特産品をプレゼントしました。



▲古川産小麦と米粉を使ったうどん、加美よつば産トマトとタマネギを使ったケチャップ・ソース・カレーのセットを手渡した



手拍子をしながらかんさーとを楽しんで

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

J A加美よつばはSDGsに取り組んでいます！

WADAI YUME

わ だ い ゆ め



栽培方法や栽培技術など情報交換をした

12

つくる責任
つかう責任



J A秋田おぼこ 生産者と意見交換

17

パートナーシップで
目標を達成しよう



J Aキャベツ部会は10月24日、J A秋田おぼこキャベツ部会の視察を受け入れました。

視察はJ Aキャベツ部会の庄子功部会長も同行しJ Aの保冷施設と同部会員で1ヘクタールを栽培する株式会社原グリーンサービスの圃場を視察しました。

同部会の庄子部会長は「他地域の生産者と情報交換することができた。お互いに抱えている課題などを共有し今後のキャベツ栽培に取り入れていきたい」と話しました。

今後、同部会も視察研修や栽培講習会などを計画し、部会員内での栽培技術の統一を図り品質向上と安定生産に努めていきます。



蠍座 さそり
(10.24～11.22)

〈全体運〉運勢は穏やか。人に助けられながらうまくいきます。あなたもできるだけ力になってあげて。おしゃれにツキあり 〈健康運〉食事は量より質が大切。バランス良く食べて 〈幸運の食べ物〉セリ





実演作業をじっくり眺める生産者

12 つくる責任
つなぐ責任

直播栽培確立で「バツハオニオン」増産目指す

J AはJ Aブランドタマネギ「バツハオニオン」の作付面積増加を目指し、全国的に注目されているタマネギの直播栽培を令和6年産より試験的に実施します。

9月14日、J A玉葱部会員の尾出芳彦さんの圃場約30アールで実演会を開きました。同日は多くの生産者に参加してもらおうと同部会員や法人・営農組合を中心に周知し会場には各種関係機関も合わせ21名が参加。

作業は畝立てと同時に進行で播種できるよう播種機をトラクターにセッティングし、4条播きによる作業を実演しました。

J Aでは、今回実演した圃場の巡回を繰り返し行い、生育経過が分かるマニュアルを作成して玉葱部会員と共有を図ります。7年産から本格的な導入を目指しており、今後は、生産者やJ A、行政などと連携しながら普及拡大を推進し生産量増に向け協力体制を強化していきます。

11 住み続けられる
まちづくりを

秋晴れの中、自慢の腕競う

J Aは10月18日、「第14回J A加美よつば組合長杯パークゴルフ大会」を加美町のやくらいパークゴルフ場で開きました。

雲ひとつない秋晴れでパークゴルフ日和の中、優勝杯を目指し、91歳の最高齢者を筆頭に組合員92名が元気はつらつとしたプレーで熱戦を繰り広げました。

プレーを楽しんだ参加者は「楽しみにしている大会なので今年もプレーができて満足できた」と話しました。

J Aでは組合員加入促進・組織強化、健康増進をテーマに掲げ、地域に根差したJ Aをめざし各種イベントを開き交流の場を数多く提供しています。

大会成績は次の通り

男性優勝＝堀籠 文夫さん（色 麻）

女性優勝＝本田美代子さん（中新田）



工藤組合長（中）から優勝トロフィーを受け取る優勝者

4 質の高い研修を
みんなに

青年部宮崎支部が小学校に稲刈り指導

青年部宮崎支部は10月25日、賀美石小学校を訪れ、5月に手植えをしたみやこがねもちの稲刈りを指導しました。

青年部員は5年生に鎌の使い方や刈り取った稲の束ね方などを教えながら一緒に取り組みました。また、刈り取った稲で、11月中旬に脱穀作業の体験もします。

稲刈りを体験した児童は「教わりながら上手に鎌を使えたのでとても楽しかった」と話しました。

同支部では今後も積極的に農業体験を受け入れ、地元の小学校と連携しながら子どもたちに農業の魅力を伝えていきます。



全員で協力しながら杭掛けにも挑戦した

青春ストーリー



農業科3年生

高橋 昂世 さん
(大崎市 出身)



★現在の目標
陸上自衛隊に入ること！

▶色麻町民秋まつりでも直売した



- Q** 農業に興味を持ったきっかけは？
- A** 祖父母が農家でトウモロコシなどの野菜を育てたり、ヤギを飼ったりしていました。長期休暇に手伝いをする中で農業に興味を持ったので、自分もチャレンジしようと思いい加美農業高校に入学しました。
- Q** 好きな教科は？
- A** 「農業経営」です。自分たちで売る商品(野菜)の良い所を知ってアピールできるように、調理・試食をしたりもします。
- Q** 学校生活で印象的だった事は？
- A** 3年間、野球部に所属したことです。部活を通してチームワークを学び、成長することができました。
- Q** どのようなことを勉強しているの？
- A** 流通や経営の勉強として、自分たちで育てた野菜を自分たちで売ることや学んでいます。約10種類の野菜を育てて、文化祭や学校の即売会などで販売しています。文化祭ではクラスメイトと協力し、ネギやサツマイモ、レタスなどたくさん購入してもらって嬉しかったです。

地域で輝く女性をご紹介 YUMEレディー

色麻支部

小松 れい子 さん

10年ほど前に友人に誘われて、色麻幼稚園や保育所の読み聞かせボランティアをするようになりました。最近は加美町の「童話の会」にも参加し、紙芝居や大型絵本、舞台に見立てたエプロンのポケットから人形を出してお話しをするエプロンシアターなどを子どもたちに見せています。また、人形劇をすることもあります。これは数人で息を合わせて人形を動かさなければいけないので、なかなか難しいです。

ボランティア活動は月に2~3回ありますが、毎回子どもたちが楽しんでくれている様子にこちらも元気をもらえて嬉しくなりますね。

今まで活動を続けてこられたのは家族や仲間の協力のおかげと感謝しています。小さい時から本が好きだった私が、こういう形でボランティア活動ができるのは幸せなことだと思っています。



読み聞かせのボランティア活動



山羊座 やぎ
(12.22~1.19)

《全体運》上昇運。足の引っ張り合いがありそうですが、不毛なので関わらないように。独自路線で行くのが成功の秘訣(ひけつ) 《健康運》心と音楽と香りの良いお茶でリラックス 《幸運の食べ物》ミカン



J A 役員視察研修報告書

報告者：理事 畑中けい子 理事 青木 宏子

令和5年8月23日～25日の3日間、北海道方面「谷口農場」及び「熊谷農園」の取り組みについて視察研修してきましたので報告いたします。

初日は6次化産業の取り組みについて学ぶため、旭川市の「谷口農場」を視察しました。

初代が富山県魚津市より北海道へ入植してから120年、現在地で開拓を進め、1968年に株式会社谷口農場を設立しました。現在はパート・外国実習生4名を含め34名の従業員で、経営総面積は75haで水稲56ha、トマト4ha、トウモロコシ4ha、その他にも豆・ジャガイモなどを生産しています。その中において1次産業の生産では特別栽培米「ゆめぴりか」をはじめ、トマト、トウモロコシなど15種類の農産物を、2次産業の加工では、トマトジュース、野菜ジュース、ゼリー、甘酒、味噌などを、3次産業の販売事業では農場直売店や旭山動物園直営店「あさひやまファームZOO」の運営・卸売業・OEM受託などにそれぞれ取り組んでいます。

また、「こだわりの生産から まごころの加工まで」をキャッチフレーズに「経営多角化の相乗効果を最大限に発揮させ北海道で最高品質の農業法人の実現」を目指し事業展開を行っています。

自社工場での飲料製造を始めてから31年となり、当時からスチール缶を再生可能資源として売り出していました。その他にも加工ラインを持っていることで、メロンやトウモロコシを旬な時期に1次加工して保管できるほか、近隣JAや個人農場、酒屋などと連携して、特産物のイチゴ、豆、トウモロコシのジュースや甘酒などの小ロットの生産もしています。それぞれの缶のデザインは、スチール缶を包むフィルムのみを作製しながら、コストを抑えて商品が生産できる体制となっていました。新商品の開発は、時にお客さまのク

レームから生まれることもあるそうです。6次化事業の取り組みは販路を自分で探すことが一番大変で、地域と連携したこだわりの原料や栽培方法、農園をアピールした野菜を使うなど、特産品として売り出すことで産地間競争を勝ち抜かねばならないそうです。

次に「熊谷農園」の四季彩の丘を視察しました。美瑛町の広大な花畑の観賞にトラクターがけん引する乗り合い車を使うアイデアは素晴らしいと思いました。個人の農産物生産経営から観光農園として農業体験や動物とのふれあいなど、農業の魅力で北海道を十分に満喫でき、これも農業経営の一つなのだと感じました。

いろいろな形の農業経営を研修しましたが、当JAも特産品を開発したいと考えています。法人や農家の6次化経営を指導・支援して特色ある独自の野菜を生かしたジュースやゼリーなどを考察し、他社に加工を依頼してJA直売所の特産とすることで小ロットでリスクを小さくして実践できるのではないかと感じました。

以上、役員視察研修の報告と致します。



▲取り組み内容などを研修しました



報告 集落座談会 意見要望事項への回答

9月1日、8日から14日までの日程で各集落の集会所などを会場に開催しましたJA集落座談会では、組合員の皆さまから多くの意見、ご要望が寄せられました。この中から、主なものについて回答いたします。

営農販売部

《農業振興・指導関係》

1. 飼料用米の専用品種をのぞく主食用米品種の作付けで奨励金が減額される。継続して専用品種同様に奨励金を交付してほしい。

飼料用米は将来にわたる主食用米の作付面積の抑制のため、専用品種への誘導を図る予算措置が国によってなされています。しかし、複数品種の作付けによる作業効率の悪化のため、専用品種への切り替えが進まず、逆に主食用米の作付けが増えてしまうことが懸念されています。そのため、主食用品種についても専用品種同様の措置がされるよう今後は農政連などを通じて国に対して要望を行ってまいります。

2. JAの農作業受委託事業を利用してWCSの刈り取りを依頼しているが、受託先の話によると機械の老朽化などにより継続が難しいとの話をされた。今の受託先が作業を断った場合でもJAで別の受託先を仲介してくれるのか。

JAとして新たな作業の受託先を選定しますが、受託先が見つからない場合や受託条件に変更が生じる場合は、作業委託希望者に対して作付け前に相談させていただきます。

3. インボイス制度の説明は一度聞いただけでは理解できないので、再度説明会を開催してほしい。

インボイス制度はJA特例や、経過措置による8割控除などの適用により、影響は限定的なため、各業務の中で対応を行います。さらに、当制度はすでに10月1日から開始されていますので、今後の説明会の開催は計画しておりません。

4. クサネムが多くなっているため雑草除去の案内は、混入防止のため刈り取り時期よりも早く周知してほしい。

クサネムは長期間にわたって出芽することから難防除雑草とされています。湛水状態では出芽が抑えられ、中干しを機に発生が増加すると考えられます。今後は水稲情報などで水稲の生育ステージに応じたクサネムの防除方法を周知いたし

ます。

5. 飼料用米の後作に主食用米を作付けできるのか。

「夢あおば」、「東北211号」といった飼料用米の専用品種については、玄米の形状が主食用米とは大きく異なるため、コンタミ防止の観点から後作での主食用米の作付けを制限しております。しかし、現在推奨している飼料用米専用品種の「ふくひびき」は、福島県ではうるち米の奨励品種となっており、玄米の形状は通常の主食用米と同等であるため、こぼれ粃から発生する稲の防除に効果のある「プレチラクロール剤」（初期除草剤の「ソルネット」、「エリジャン」）を使用してコンタミ対策を講じることで作付けが可能となります。なお、令和6年播種用の「ふくひびき」転用種子については、管内の需要に十分応えられるように60t（令和5年需要量の1.5倍）を確保しています。



6. 稲作情報をいち早く提供してもらいたい。特に今年は異常気象だったのでも以上にこまめな情報提供をしてもらいたい。

令和5年はこれまで経験したことのない高温下での水稲栽培となり、生育も大幅に早まったことで、適期に適切な稲作情報を提供することができませんでした。今後は関係機関と連携して迅速に情報収集を行い、必要に応じて緊急情報を発信することで適切な水稲情報の提供に努めます。

《米集荷・販売関係》

7. 米を出荷する際、割り当てされた出荷日まで連休が入り期間が空く場合は、割り当てられた日以外の日でも搬入させてほしい。

連休などで割り当ての出荷日まで期間が空いて作業に支障が生じる場合には、臨時の出荷日を設けるなどの対応をさせていただきます。所轄の拠点センターや倉庫にご相談ください。

8. 米価が昨年度より引き上げられているが、生産費の高騰には追いついていないJAとして更なる概算金の引き上げ対策をしてほしい。

令和5年産米の概算金単価設定の協議においては、当JAとして更なる引き上げを全農宮城県本部に要請しましたが、

販売環境や取引先の動向などから、ひとめぼれ1等米の生産者渡し概算金は1万1,500円/60kgとさせていただきました。今後の作柄や需給動向、販売情勢によっては概算金の追加払いも検討いたします。また、生産費を適切に反映した農畜産物の「適正な価格形成に向けた仕組みの構築」の必要性をJAグループとして政府や消費者、取引先に対して求めてまいります。

《生産資材関係》

9. 加美よつば専用肥料の「ぶな」と「清流」には肥料高騰対策奨励金があるが、同じく加美よつば専用である、「有機エース」にはないので、同様に肥料高騰対策奨励金を付けてほしい。

輸入原料価格の上昇に伴い、リン酸・カリを多く含む「ぶな」「清流」に対し値上げ幅を抑えるため奨励対策を講じておりました。しかし、次年度以降は有機質肥料などの値上げが見込まれることから、専用肥料の「有機エース」についても価格動向を踏まえ奨励対象品目になるか検討してまいります。

10. 肥料を20kgではなく15kg規格で販売してほしい。

肥料袋のほとんどが20kg袋となっていますが、近年の農業従事者の高齢化に伴い、15kg袋や10kg袋など、需要に

合わせた商品の取り扱いを検討してまいります。

11. 箱処理剤の返品受付ができないものに関して、今後返品できるように対応してほしい。

追加注文品については返品受付ができない商品もありますが、注文書掲載品目（箱処理剤を含む）については、返品対応が可能です。購買窓口にご相談ください。

12. 店舗に置いてある品物の価格が近いうちに上がるのであれば、事前に情報提供をしてもらいたい。

資材価格の改定は、情報が入り次第購買窓口を通じてできるだけ早く情報提供いたします。

農機自燃部

1. 給油所が事業移管することによって現状と何が変わるのか。

全農卸し機能との統合により、販売力および価格サービスの向上につなげてまいります。ただし、小野田給油所と色麻給油所におけるピット作業（オイル交換・タイヤ交換など）のほか門型洗車機（小野田給油所）の利用については廃止いたします。ご不便をお掛け致しますが、今後は自動車センターをご利用ください。

2. 免税軽油の手続き対応について教えてください。

春の集落座談会でもご案内のとおり、令和6年度使用の免税軽油にかかる申請手続きは、引き続きJAで代行いたします。申請時期になりましたら改めてご案内いたします。

3. 給油所移管後もオイルの予約注文を継続してほしい。

農機センターなどで継続できるよう進めてまいりますので、ご利用ください。

4. 給油所移管後も定期配送は行うのか。

移管後も全農東北エネルギー(株)より配送いたします。引き続きご利用をお願いします。

生活部

1. 県内の他JAで葬祭供物を利用した際、組合員割(5%引)で利用している方がいた。当JAでも検討してもらいたい。

葬祭供物は、ご遺族宅での申し込みも多いことから組合員確認が困難であるため、組合員割を設定しづらい商品となります。管内葬儀社の価格動向をふまえて組合員の皆さまがご利用しやすい価格設定をしてまいります。

2. 葬祭センターの家族葬プランが30万円となっているが、他の業者ではもっと安い価格だった。JAでも何種類かランクを設けてはどうか。

JA葬祭センターでは、ご遺族さまのお別れの希望によりプランを設けております。「やすらぎホール菩提」を利用した10〜15名さま規模の家族葬から、「やすらぎホールよつば」を利用した大勢の方でお見送りをいただくプランまで、ご家族さまの最期のお別れに寄り添うご提案をさせていただきます。事前相談など随時うけたまわっておりますので、ご利用ください。

管理部

1. 研修バスを廃止にしないしてほしい。また、廃止にするなら助成をしてほしい。

平成18年に導入してから18年が経過し、車両の故障も頻繁に発生していることから、安全面および経費面を考え研修バスを廃止しました。また、運転手および同行職員の労務管理と費用圧縮を図るため新規導入を見送ることとなりましたのでご理解願います。今後は、次年度計画策定において助成措置を検討いたします。組合員の皆さまには長らく研修会などにご利用いただきありがとうございます。

2. 9月の座談会は必要なのか。座談会の在り方を考えてほしい。

現在、年2回集落座談会を開催しています。座談会の在り方については9月は

米の集荷、次年度の生産資材の注文を中心に意見交換を行っていますが、近年、9月の座談会には法人、営農組合に加入している方の出席が少なくなっています。今後については、組合員の皆さまのご意見をいただきながら座談会の在り方を実行組合長会議において検討してまいります。

3. 農機センター職員の増員を強く望む。

また、若い人材育成を強く希望する。農機センターに地元の職員がいないので地元出身の職員配置をお願いしたい。

農機センターについては、効率的な事業運営の構築を行うにあたり、中期3カ年計画の実践に向けて現在検討を行っているところです。また、職員の増員および若い人材の確保についても、毎年新規職員の採用と中途職員の採用募集を随時行っております。今後は、農業機械整備の専門的知識、技能の習得や能力のレベルアップを図るとともに、定期的に出身区域も考慮した人事異動を進めてまいります。

人事異動のお知らせ (敬称略) () は旧部署

令和5年10月1日付

金融共済部加美支店金融課 佐々木 夏 希 (金融共済部金融課窓口担当)

金融共済部金融課 高 橋 華 奈 (金融共済部加美支店金融課
窓口業務・移動店舗車担当)

管理部付 高 橋 香 織 (管理部総務課)

ご葬儀・ご法事のご用命は

JA加美よつば葬祭センターへ

～信頼と安心でご家族様の最後のお別れに寄り添います～

JA加美よつばには「やすらぎホールよつば」「やすらぎホール菩提」の2つの葬祭会館があり、10～15名さまの小規模での家族葬義プランや大勢の方でお見送りいただくプランなど多様な形式からお選びいただけます。おひとりおひとりの想いを大切に、心に残るご葬儀のお手伝いをさせていただきます。



〈ご葬儀・ご法要・生花・供物〉事前相談・ご注文受付中

365日「もしものときに」**24時間受付中**



JA葬祭

0229-63-5110

～携帯電話に登録で すぐにつながって安心～

JA加美よつば葬祭センター

TEL : 0229-64-2102 (商品券・供物・法要受付)

加美町字町裏180-2

みんなの声

※誌面の都合上、内容を簡潔に伝えるために、文章を変更する場合がありますのでご了承ください。

今月号のテーマは「今年一番感動したこと」

遠方に住む孫娘にコロナ前の生後3カ月の時以来、3年5カ月ぶりで会いました。「あーちゃんとお風呂入りたい」「一緒に寝たい」と言われた時は感動しました。
(色麻 あーちゃんさん)

待ジャパンの野球で、色々と感動することばかりありました。楽天イーグルスにも頑張ってもらいたいです。
(中新田 M・Sさん)

8月6日の大相撲仙台台場所に行ったことです。力士たちと直接会って握手をしたり、サインをもらったりしました。皆さんとても気さくで驚きました。
(中新田 よんぞつさん)

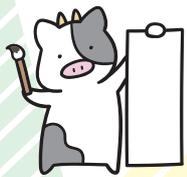
高校生の孫がものづくりコンテスト(旋盤)の東北大会で優勝したことです。全国大会もあるので家族全員で応援しています。
(宮崎 T・Sさん)

今年の猛暑の中で見た、サトイモの「花」です。品があり暫し暑さも忘れて眺めました。
(宮崎 タヌーペさん)

高校生になる孫の剣道の試合を久しぶりに見に行き、成長を感じながら応援したことです。見事、優勝した姿にも感動しました。
(小野田 孫の成長を楽しみにしているバーバさん)

たくさんのお便りありがとうございました。来月号もよろしく願います。
(広報担当)

来月号のテーマは「令和6年の目標」です。
もうすぐ令和6年を迎えます。そこで皆さんの目標についてぜひご感想をお寄せください。



理事会報告

全議案原案どおり承認されました

第9回9月臨時理事会 (令和5年9月7日開催)

- 第1号議案 令和5年産米概算金の決定について
- 第2号議案 令和5年産米生産者買取価格の設定について

第10回9月定例理事会 (令和5年9月28日開催)

- 第1号議案 令和5年度上半期決算基準について
- 第2号議案 当組合における取引のリスク評価書(特定事業者作成書面等)の改正について

第11回10月定例理事会 (令和5年10月30日開催)

- 第1号議案 第2四半期経営検討書について

監事会報告

全議案原案どおり承認されました

第7回10月監事会 (令和5年10月5日開催)

- 第1号議案 令和5年度上半期棚卸監査結果について

イブニングサービス

(金融・共済業務窓口相談日)

12月は13日(水)・27日(水)

毎月第2・第4水曜日 午後7時まで

ご相談は本店金融課・加美支店・共済センターまで



管理部
から

組合員資格の確認を実施いたします

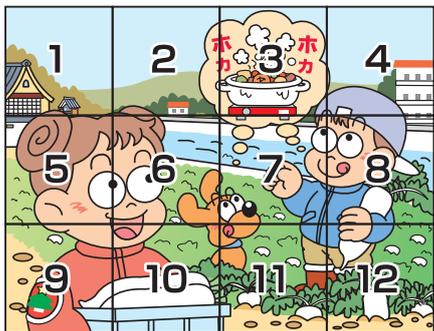
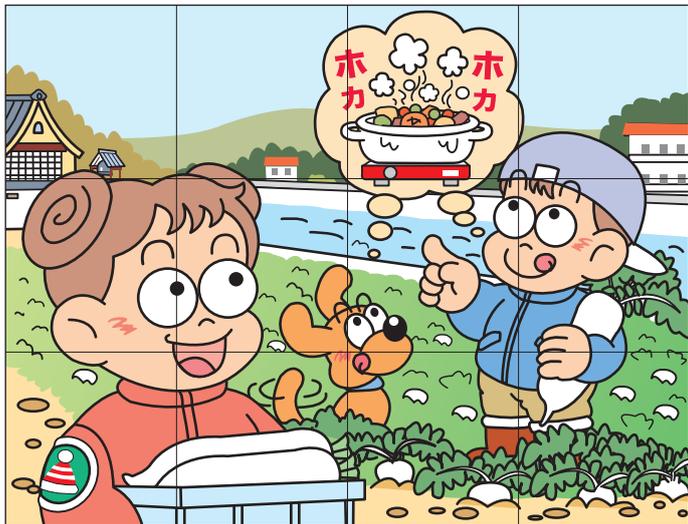
組合員資格など(氏名、住所、組合員資格の区分など)に変更がある場合は、最寄りのJA支店・拠点センターまでお申し出ください。

私たちのJA(令和5年10月末)

- 組合員数(正)6,090名
- 組合員戸数(正・准)5,397戸
- 組合員数(准)1,128名

まちがいがし

右のイラストには左のイラストと違う部分があります。間違っている部分を左下の枠内の数字で探しましょう。



《応募方法》正解者の中から抽選で、下記に掲載の「とまとケチャップ」1本を4名の方にプレゼント。ハガキ（左下掲載ハガキでも可）、メールまたは各拠点センター窓口にある応募用紙に解答・来月号のテーマに寄せた内容またはご意見・住所・氏名・電話番号を書いて左下掲載ハガキの宛先またはJA窓口までご応募ください。

- 10月号の答え
- 2…トラックの荷物の量が違う
 - 3…サツマイモの数が違う
 - 8…袖のラインがない
 - 9…サツマイモの葉が少ない
 - 12…タオルがかかっている

コミュニティ情報誌
かみんぐvol.24
クロスワードパズルの
答え
「フユジタク」



締切 11月30日(木)

郵便はがき

お手数ですが
63円切手をお貼りください

9 8 1 4 1 2 2

色麻町四竈字柺木町14番地の1
加美よつば農業協同組合
「YUME」編集係 行

ご住所 〒		
お名前 P.N. (ご希望の方)		
年齢	性別	電話番号
歳	男・女	()

今月のプレゼント

とまとケチャップ

1本 (380g) 参考価格 490円 (税込)



太陽の光をいっぱい浴びて育った完熟トマトにこだわり、着色料や保存料を一切使わずに仕上げました。一瓶にトマト約16個分が凝縮されています。とても濃厚な味で一度食べたならやみつきになること間違いなし！

今月のプレゼントは「とまとケチャップ」1本を4名の方に！

〈商品のお問い合わせは〉直売所「愛菜ハウス」へ
〈Aコープマーク品のお問い合わせは〉拠点センター営農経済課へ

*個人情報取扱いについて ご応募に際して取得しました個人情報は、プレゼントの抽選・発送、広報誌の編集企画の目的以外には使用しません。ただしJAからのお知らせを送付させて頂く事がありますのでご了承ください。また、承諾なく第三者に提供致しません。

加美警察署から
お知らせ

夕暮れ時の交通事故防止!

合い言葉は「ラ・ラ・ラ」

夕暮れから夜間にかけて、道路横断中の歩行者が車と衝突して死亡する交通事故が多発しています。

宵闇がただよい始めて、周囲が見えにくくなる場合、歩行者もドライバーも「ラ・ラ・ラ」を合い言葉にいち早く自分の存在をアピールするとともに、ドライバーは、進路右側からの横断歩行者に注意を払う「ラ・ラ・ラ運動」を実践し、夕暮れ時の事故を防ぎましょう。



ライト・オン
Light on
早めのライト点灯

ラ・ラ・ラ
運動

ラ
ライト・ケアフル
Right careful
右側注意

ラ
ライト・アップ
Light up
目立つ装備・服装



編集後記

10月29日、11月5日に開催したJA秋まつりには多くの皆さまにご来場いただきありがとうございました。両日ともに天候も大きく崩れることなく、農産物品評会や新鮮野菜の即売会、女性部員の作品展示とチャリティー販売など終始大盛況の内に終えることができました。今後、イベントの様子を広報誌などでご紹介させていただきますので、お楽しみに!!



応募用紙

まちがいがさの答え（数字を5つ記入してください）

「みんなの声」または「みんなのご意見広場」へのお便り
広報誌への掲載▶ 可 ・ 匿名(P.N.)なら可 ・ 不可
(○で囲んでください)

URL <https://www.ja-kami.or.jp/>
E-mail yotsuba@ja-kami.or.jp

リサイクル運動推進のため再生紙を使用しています。